



Sustainability
Transformation
Workplace

次の100年をつくる
ワークプレイス

SXWP

vol. 3
2026.09

Workplace for
the next 100 years

KOKUYO × SEMBA

SXWPの歩み： 実装へと深化する2年間

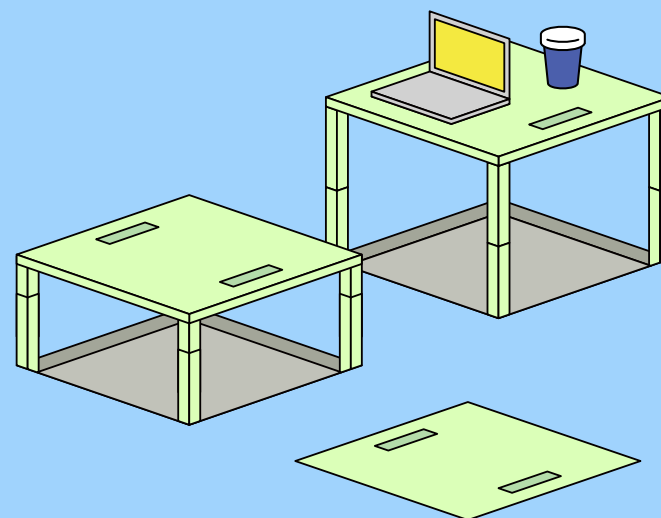
持続可能な社会づくりへの対応が、企業の持続的な成長にも不可欠となるなか、働く環境のあり方にも変化の兆しが見えはじめています。こうした背景のもと、SXWP（Sustainability Transformation Workplace）は、これからの時代に求められるワークプレイスの方向性を探る提言として、2024年にVol.1、2025年にVol.2を発刊し、その考え方と実践を段階的に整理してきました。

Vol.1では、ワークプレイスの役割を思想レベルで捉え直し、単なる「働く場」ではなく、企業・社員・地域が“気づき”、そこから“価値を育てていく”ための場であると定義しました。そしてその構造を、「共感」「循環」「挑戦」という3つの機能として整理し、さらにそれらを具体化する8つの機能として提示しました。

続くVol.2では、その考え方が実際の空間や取り組みの中でどのように表れているのかを、さまざまな事例を通じて検証しました。企業の文化や地域性に応じて、8つの機能は一律ではなく、多様なたちで実装されていることが見えてきました。

そしてVol.3では、これまでの思想と実例を統合し、各企業が自らの文脈でSXWPを実装していくためのフェーズへと進みます。8つの機能を、より具体的な「アイデアスケッチ」として可視化し、空間・体験・運用を一体で捉えた実装のヒントとして提示します。正解を示すのではなく、それぞれの企業が試しながら育てていくための手がかりとなることを目指します。

TWO YEARS OF DEEPENING TOWARDS IMPLEMENTATION



SXWP

vol.3

Chapter 1	オフィスの価値を再定義	変化する価値観と、SXWPが担う役割 - AI時代だからこそ、人と場の価値が再び問われている - 人と人、人と社会をつなぎ、新たな価値を育む舞台となる
Chapter 2	SXWPの始め方	SXWPを実現させるためのステップ
Chapter 3	SXWPの思想とキーワード	SX時代に求められるワークプレイスSXWPとは 8つの視点から読み解く、ワークプレイス変革の発想と価値創造 SXWP実現のためのアイデアマトリクス
Chapter 4	空間と運用のアイデア	アイデア集の使い方 アイデアリスト
Chapter 5	SXWPへのアプローチ	ビジョンと同期させ、多彩なSXWPの姿を描く - 企業の数だけ存在するSXWPの最適解を導き出すプロセス 働く人の期待と、オフィスの今 - 期待と実態のギャップ、SXWP空間へのニーズは7割以上 現場の「声」と、オフィスの今に向き合う - 現状を客観的に見つめ、自社の課題を紐解く 「ありたい姿」×「現状課題」から、最適な形を導く - 自社にフィットしたSXWPを描くための方程式 CASE A 社内のカルチャー浸透やブランディングを強化するSXWP 解説 CASE B 入居企業の枠を越え、価値を共に築く Building as a Platform SXWP 解説
Chapter 6	共創する未来へ	終わりのない旅、共創の未来へ

THE VALUE OF

続きをご覧になりたい方は下記よりお問い合わせください。

<https://www.semba1008.co.jp/ja/contactus/sxwp3>

**企業価値の変容と
人を中心とした価値創出**

Evolving Corporate Value:
Putting People at the Center

Chapter 1

オフィスの価値を再定義

Copyright © KOKUYO Co., Ltd. All rights reserved.
Copyright © SEMBA CORPORATION All rights reserved.

SXWP